

議会報告会を開催

— 開かれた議会を目指し —

伊達市議会では、開かれた議
会を進めていくために、11月6
日、7日の両日、10会場で市民
の皆さんに対する議会報告会を
開催しました。報告会では次の
3点について、説明し最後に市
民の皆さんと意見交換を行いま
した。

○9月定例会の報告について
○議会改革の進捗状況について
○議会の会派について

皆さんから出された意見、提
言等については、その場でお答
えしたものではありませんが、中
には議会が対応するもの、市長
へ報告するものがありましたの

で、下記のようにまとめさせて
いただきました。

市長へ報告するものについて
は、1月25日議長 副議長が市
長室を訪れ報告いたしました。



伊達東公民館

■日程及び会場

11月7日(日) 午後7時～午後9時					11月6日(土) 午後7時～午後9時					日時	班	地区	学区	会場
5班	4班	3班	2班	1班	5班	4班	3班	2班	1班					
月館	霊山	霊山	保原	保原	梁川	梁川	梁川	梁川	伊達					
月館小	泉原小	小国小	上保原小	大田小	栗野小	堰本小	白根小	五十沢小	伊達東小					
月館ふさとふ れあいホール	泉原勤労者交流 センター	小国ふれあいセ ンター	上保原公民館	大田公民館	栗野農業構造改 善センター	堰本ふさと会 館	白根農業構造改 善センター	五十沢農業構造 改善センター	伊達東公民館					

5班	4班	3班	2班	1班
菊地邦夫	半澤 隆、佐々木彰	佐々木英章、原田建夫	小野誠滋	齋藤和人、安藤喜昭
			菅野喜明、滝澤福吉	菅野直毅、佐藤 勲
			菅野与志昭	熊田昭次、八巻善一
			松本善平、中村正明	大和田俊一郎、菅野富夫
			佐藤 実	

回答した内容

Q 補助事業による「グループホーム」建設に係る入札参加業者選定に、市から高圧的な要求があったとのことだが…。

A 市では「今回の補助事業は補助金も数千円と多く、総額では1億を超す事業となることから、公共事業と同等にしっかりと取り組んで欲しい旨の話をしました。このことが高圧的に捉えられたのではないかと思います」とのことです。

Q 伊達中学校のバックネットに安全フバーがついていないため、安全のため是非設置していただきたい。

A 市では「安全フバーの設置あるバックネットは1校しかない。全体に必要としていますが、財政の関係で実現できていない状況です。教育委員会としましては、実現に向け予算確保に努力してみます」とのことです。

Q 祖父の名義の農地の場合、農家分家として住宅ができない。建てる方法はないものか。

A 市では「通常の分家住宅は不可能であり、2世帯住宅なら可能であったが、希望とは合致せず、都市計画の地区計画に期

待し、今日に至っています。現在市では区域指定の手続き中で農用地除外を進めており、3月で終了できれば23年度には土地利用が可能になるのではないかと認識しています」とのことです。

Q 市民一人当たりの支出額、市の借金、市の貯金、市の財政は県内の他市と比べてどうなのか。

A 市では「平成21年度の市民一人当たりの歳出額は40・6万円。市の借金は53・2万円。市の貯金は8・9万円となっています。市の財政は実質公債比率14・6、将来負担比率125・7と4大市を除く順位では3位4位となっており、他市と比較しますと財政状況は良い方です」とのことです。

Q 特別養護老人ホームの待機の状態について教えて欲しい。

A 市では「現在、312名の入所希望待機者があります。なお、待機場所別では在宅待機164名、老人保健施設69名、病院61名、その他18名です」とのことです。

Q 政務調査費は、余った場合はどうなるのか。

A 年度末で清算となり、市へ返還することになります。

Q 栗野小学校、堰本小学校の体育館の耐震ランクは、ランク外だったがどうするのか。

A 市では「栗野小学校、堰本小学校の屋内運動場は木造であり、木造建物については文部科学省所管の「安全・安心な学校づくり交付金」で適用される学校施設の耐力度点数によって危険であるかどうかの判断となります」。

堰本小学校屋内運動場は平成20年度に耐力度調査の結果、4942点でありましたので、構造上危険な状態にある建物(5500点未満のもの)と教育委員会では判断しており、早急な改築を検討しております。

また、栗野小学校屋内運動場は未調査で、現時点では危険な状態にある建物かどうか判断はできませんので、早急な調査を検討しております」とのことです。

Q 泉原小学校の閉校に関する議案が議決されていないのですか。閉校に伴う記念式典や記念誌事業等の準備が進んでいるので、心配ですが…。

A まだ、議案として提案され

ていませので、議決されてお
りません。提案されたときには、
内容をよく調査すると共に審査
したいと思っています。(なお、12
月定例会において予算が提出さ
れ、可決されております)

Q プールが学校から遠い。プー
ル設置基準等を教えて欲しい。

A 市では「学校施設を整備す
る場合は、文部科学省の『公立
学校設置費国庫負担金等に関す
る関係法令等』を参考に計画し
ておりますが、学校プールの設
置基準についてはこの関係法令
に具体的な基準はありません。
しかし、児童の安全を確保する
ことや円滑な学校運営の見地か
ら校地内にあるのが適当と考え
ております。現在、学校から遠
いプール設置としては、堰本小
学校は校地から約500m、白
根小学校は約700m、五十沢
小学校は約200m、大石小学
校は約100m、山舟生小学校
は県道を挟んで校地外となつて
おります」とのことです。

Q 栗野地区の遊水地の利活用
について、県では市に貸与して
もよいとのことだが、グラウン
ド・ゴルフ場として整備できな
いか。

A 市では「東根川遊水地は、

県において平成2年度から整備
が始まり、A池及びC1池が完
成し、現在C2池の用地買収が
進められています。利活用につ
いては、平成16年度に東根川広
域期間河川改修事業整備促進協

議会が主催となり、構成3町の
地域住民代表や各種団体代表を
構成員として意見交換や先進地
視察が行なわれ、平成17年3月
に県よりA池については自然環
境の保全を主体とした公園、C
1池については運動公園的な利
用を主体とした公園との整備構
想となっていました。現在、県
では東根川遊水地の今後のあり
方について、整備だけでなく維
持管理も含めた方針策定作業を
検討しているとのこと、現時
点では住民が利用できる時期に
ついては不明です」とのことです。

Q 長沼の管理は地元対応は限
界で、なんとかならないか。

A 現地調査の結果、この沼は
周辺環境の変化によって、利水
農家の減少、生活雑排水の流入
季節的濁水などの問題を抱え、
整備には多大な経費と時間が必要
と思われる。市では「早急
には困難であり、長期的視点で
国及び県と協議を進めていきたく
と思います」とのことです。

Q 旧町議会での請願、陳情は
どのように扱われているか。

A 旧町時代の請願、陳情につ
いてはよく調べさせていただき
たいと思います。

議会として対応する 内容

Q 議会報告会の内容をどのよ
うな方法で周知していくのか。

A 「議会だより」「伊達市H P
内の議会コーナー」で内容を取
りまとめ、お知らせしていきま
す。

Q 議長選挙を立候補制とした
が、会派の話し合いなども含め
旧来の方法で決めたのか。

A 議会基本条例を遵守し、市
民に開かれた説明責任の果たせ
る選出に向け、議会全体で活動
していきます。

Q 政務調査費の使えないこと
の記載はあるが、資料には使え
る内容も記載するべきではない
か。

A 今後、資料作成するときは、
掲載したいと思います。

Q 報告会も資料のみでの報告
でなく、議員のこれまでの質問
内容・今後予定している質問等

も含め、議会活動としていくよ
うな報告会にすべきではないの
か。

A 今回は、テーマをもった報
告会でありご理解をいただきたく
と思います。今後、議会報告
会のあり方について、更に検討
を加えていきます。

Q 議会報告会の日程、時間、
曜日の設定について、検討をす
べきではないか。

A 議会報告会は9月議会終了
後、及び3月議会終了後を予定
しています。なお、曜日、開催
時間については、再度検討した
いと思います。

Q 議会報告会を知らない市民
が多い。多くの参加をしてもら
うための方策を考え、次回にい
かすべきではないか。

A 次回開催までに検討します。

市長へ伝える内容

Q 八幡神社の整備で史跡が壊
された。敷石も重機で掘られ、
調査もしていない。歴史認識が
欠落している。議員もしっかり
して欲しいし、文化財保護審議
会へ諮問するなどの対応が必要
だったのではないか。今後この
ようなことが無いよう執行部へ

伝えて欲しい。

A 専門家の確認等をして執行
すべきだったと思います。市長
へ話の内容を伝えます。

Q 移動議会をやって欲しい。

A 移動議会の要望があったこ
とは、執行部にも伝えます。な
お、執行部との協議も必要なこ
とから、できるかどうかも含め
検討します。

*紙面の都合上、すべての内
容は掲載できませんので、ご
了承願います。



栗野農業構造改善センター

次回は3月定例会後に
議会報告を予定していま
す。市民皆様の参加をお
待ちしております。